





### 【はじめに】

金門は福建省南部の沿海に位置する小さな島ですが、独特な地理的位置と歴史を持っています。また末期の清王朝時代から、文政改革の数かたれた宋明時代、文治の明時代、そして多くの軍事的功績を残した清朝時代まで、金門で活躍した文官、武將、歴史の跡は絶えずなく、中国の歴史において極めて重要な特別な位置を占めています。

十九世紀末、多くの金門の住民が東南アジアへ移り住み、金門は閩南(福建省南部、広東省潮州などの地域)の華僑の故郷となりましたが、一方、国共内戦、台湾と大陸の対峙により、金門は戦地の前線でもありました。このように歴史的要因により、金門は、閩南、戦地、華僑の故郷、という三つの特色を併せ持つ、様々な文化の溢れる島となりました。

二十世紀初葉、金門とアモイの島嶼が開かれたことで、これらの金門は観光において発展してきています。このように、金門旅行を行う人は、金門を訪れる観光客の増加に、くわがわが時間でも、金門の風土、文化的背景、自然生態などを紹介し、金門をより知っていただくために書かれています。

### 【前言】

金門島は閩南沿海一帯の島、却り具其獨特の地理位置と歴史資源、唐碑晉碑、宋教數化、明職文治、清漢武功、文官武將、史冊不絶、在中國歴史の關鍵時刻、更屢屢突顯其特有的重要地位。

十九世紀末、金門居民大畧移徙東南亞、成了閩南僑鄉之一；國共内戦、兩岸對峙、使金門成了前線戰地。這些特殊的歷史因素、使今日的金門、成爲僑風閩南、戰地和華僑三種特色于一體的獨特文化。

二十一世紀之初、金運開放通航、讓金門的未來、呈現觀光風景的契機、這份「金門旅遊簡介」、正是提供外來遊客在短時間內、能針對金門的風土民情、文化背景和自然生態、提供一份充分而正確的認識與理解。

### 【一、文化的景觀】

閩南の住民はすべて中国大陸中央部からの移民の子孫であり、その言語、信仰、民間習俗、祭の祭などにおいて、漢民族の特色や制度を保持しています。現在の金門の伝統的な民間住宅や、「風獅」(獅子の形をした神)の信仰、祖先を祀る廟や民間行事など、みな閩南文化の特色を持っています。

○**旧式の家屋**  
金門の伝統的な古い家屋は、屋根のむねの形から見ると、高麗式の「懸脊」(とがった形)馬蹄式の「圓脊」(丸みを持つ形)があり、建築物の構造上に見ると「一落、二落、三落」(「落」はほぼ棟に相当し)と呼ばれる方式や、「懸脚」(屋根の上に更に屋根を付けたような構造)、「突脚」(入口の口に込み角が突き出た構造)、「迴向」(二棟が向かい合った構造)などがあります。さらに、家屋に立てられた粘土、彩色、レンガ、真の彫刻などが、その伝統的な美しさを一層引き立てています。

○**風獅爺 (獅子の形の風神)**  
金門はかつて盜賊金賊の害に苦しめられ、山嵐がほとんどなくなったため、冬には強い東北風にさらされ、田畑は荒れ果て、家屋は崩壊し、人々は安心して生活することができませんでした。そこで風神の力に頼み、「懸脚」の形を彫り込めることにしました。これが「風獅爺」で、村々の周囲に置かれ、その形も様々です。「金門の民間の守護神」と称されています。

○**宗廟の行事**  
廟と祖先の祀りは、金門の民間信仰の具体的な現れです。廟は金門では「宮」「祠」と呼ばれ、それらの廟に定期的な祭典を営み、神を祀り、人々の暮らしを助けてくれるように祈ります。金門には4月12日の「遊神祭」は最大規模で、また3月23日の媽祖の誕生日は、海に響いて生きる多くの島の人々の重要な祭典です。「宗廟」は、金門では「祖厝」または「祠堂」と呼ばれる、祖先を祀った建物で、金門の伝統的な集落には必ず一つ以上の宗廟があります。

○**古廟**  
金門傳統民居、一般人稱爲「金門古厝」、屋脊的建方式、有燕尾式的「懸脊」和馬蹄式的「圓脊」、以壁畫的形制形式、有一落、二落、三落及護龍、突脚、迴向等。

○**風獅爺**  
由於近代盜匪、亂匪危害等多重因素、使島上林木蕩然、冬季強勁的東北風肆虐、導致田園荒蕪、房屋毀壞、民不聊生、變民乃藉助風神、力獻以制寒解。這些落座在村落外圍、造型、形態各具的風獅爺、被譽爲「金門民間的守護神」。

○**宗祠**  
宗祠、金門人稱「祖厝」或「祠堂」、是奉祀祖先牌位的屋宇、金門的每一個傳統聚落、都有一座以上的宗祠。

○**廟會**  
廟宇、在本地人稱「宮」或「宮廟」、金門人絕大部分信仰的是釋、儒、道合一的「佛教」。

近年、在政府生態保育宣導和居民自覺下、金門島上高懸の數量和種類不斷地增加。這些鳥有家燕和家燕、冬候鳥則有鷓鴣、白鶯、水鴨、燕鷗、還有戴勝、環頸雉、這些在金門的田野上、到處可見。

○**古蹟**  
金門は台湾本島や澎湖より早くから開墾され、明朝、清朝時代に文武に功績のある名士たちが移り住み、史蹟は、金門全島に散らばっています。新史蹟之外、每一個聚落、最少都有一座の廟宇。這些廟宇都有定期的迎神、謝醮等祭典活動、其中尤以農曆的四月二十「迎城隍」最爲規模、至於三月廿三日媽祖生日、則是臺灣聚落居民主要的建醮活動。

○**古蹟**  
金門は台湾本島や澎湖より早くから開墾され、明朝、清朝時代に文武に功績のある名士たちが移り住み、史蹟は、金門全島に散らばっています。新史蹟之外、每一個聚落、最少都有一座の廟宇。這些廟宇都有定期的迎神、謝醮等祭典活動、其中尤以農曆的四月二十「迎城隍」最爲規模、至於三月廿三日媽祖生日、則是臺灣聚落居民主要的建醮活動。

### 【二、歴史と地理の沿革】

金門島は中国大陸福建省の九龍江の河口に位置し、アモイ島のそばにあり、[列嶼]、「大嶼」など大小合わせて15の島から成り、総面積は約150平方キロメートルです。島は東西に広く中央部がくびれ、金塊または鉄アリのようになっています。

古い資料によると、約6千年前、金門島ではすでに先住民が活動していたという遺跡があります。その歴史は、昔の時代、夏商周による後裔を運んだ中国大陸の移民たちが金門島に連れてきたことから始まります。

金門島はかつて「涇洲」「仙洲」「涇江」「滄浦」などとも呼ばれていました。明朝の洪武二年(1367年)周德興(江夏侯)が「千戸衛」を築き、この城が海防と後裔への防衛の役割を果たし、その地理的条件から「金」の如く固く、雄々しい海の門、すなわち「金門」と呼ばれるようになりました。

唐朝の徳宗の貞元年間、泉州は五つの場所に馬の牧場を設け、涇洲(当時の金門もその一つでした)。宋朝は金門の山や海が開墾され、規模が繁栄し、涇洲は泉州府の同安縣に属してました。のちに中華民國の時代になり、民國4年(1915年)金門始設縣治。

○**歴史と地理の沿革**  
金門島は中国大陸福建省の九龍江の河口に位置し、アモイ島のそばにあり、[列嶼]、「大嶼」など大小合わせて15の島から成り、総面積は約150平方キロメートルです。島は東西に広く中央部がくびれ、金塊または鉄アリのようになっています。

○**歴史と地理の沿革**  
金門島は中国大陸福建省の九龍江の河口に位置し、アモイ島のそばにあり、[列嶼]、「大嶼」など大小合わせて15の島から成り、総面積は約150平方キロメートルです。島は東西に広く中央部がくびれ、金塊または鉄アリのようになっています。

○**歴史と地理の沿革**  
金門島は中国大陸福建省の九龍江の河口に位置し、アモイ島のそばにあり、[列嶼]、「大嶼」など大小合わせて15の島から成り、総面積は約150平方キロメートルです。島は東西に広く中央部がくびれ、金塊または鉄アリのようになっています。

○**歴史と地理の沿革**  
金門島は中国大陸福建省の九龍江の河口に位置し、アモイ島のそばにあり、[列嶼]、「大嶼」など大小合わせて15の島から成り、総面積は約150平方キロメートルです。島は東西に広く中央部がくびれ、金塊または鉄アリのようになっています。

### 【三、戦地の史跡】

1949年、国民党政府が台湾へ移ってから、1992年に軍事管制が解除されるまで、金門は五十年近くも戦地としての役割を担っていました。92年の施設は観光産業発展の新しい時代に入り、2001年元旦には、金門・アモイ間の「小三通」(一部地域間部分的直接交流)が正式に始まり、金門は今や大陸と台湾の交流にとって重要な役割を担う所になりました。

軍事管制が敷かれていた時代には、金門の軍人と民衆の生活は質外で、あらゆる設備は軍人と民衆の協力によって作られていました。公園の開拓、貯水池やトーチカの建設、道路の補修など、戦地としての特色を持つことが次々と完成しました。これらかつての軍事施設は、今日の貴重な観光資源となつてきました。

「日光塔」前夕夕焼け、「慈雲」の落日、中正公園の朝暈、「榕園」のむせりとした木霊などの景観とともに、かつて戦前開闢した時期の様々な遺跡と大規模な軍事用地下坑道、砲兵連隊の遺跡、各種軍事用装具と防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業的新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲的落日、中正公園清晨的薄暈、榕園的濃蔭綠翠、宏偉的地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛的海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業的新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲的落日、中正公園清晨的薄暈、榕園的濃蔭綠翠、宏偉的地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛的海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業的新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲的落日、中正公園清晨的薄暈、榕園的濃蔭綠翠、宏偉的地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛的海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業的新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲的落日、中正公園清晨的薄暈、榕園の濃蔭綠翠、宏偉の地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛の海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業の新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲の落日、中正公園清晨の薄暈、榕園の濃蔭綠翠、宏偉の地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛の海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業の新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲の落日、中正公園清晨の薄暈、榕園の濃蔭綠翠、宏偉の地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛の海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業の新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲の落日、中正公園清晨の薄暈、榕園の濃蔭綠翠、宏偉の地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛の海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業の新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

日光塔前的夕陽、慈雲の落日、中正公園清晨の薄暈、榕園の濃蔭綠翠、宏偉の地下戰備坑道、充滿肅殺氣氛の海岸炮塔、各種軍事用裝具和防衛工事、都是昔日備戰時期的遺跡、也是今後提供世人憑弔之主要歴史場。

○**戦地の史跡**  
1949年之後、金門曾經扮演近五十年的戰地角色；至1992年、軍事管制解除後、才開始邁入發展觀光產業の新時代。2001年元旦、金、夏「小三通」正式啓動、「金門」轉而成爲兩岸互動的關鍵角色。

在軍事管制時期、島上軍民生活極樸、一切設備都賴軍民同胞共同努力、開公園、築水庫、建砲臺、修道路、許多具有戰地特色的設施、陸續完成。往日的戰備措施、成了今日彌足珍貴的觀光資源。

### 【四、特産の食べ物】

金門の産業も観光に合わせ、観光客を訪れる所はどこでも金門の特産品や郷土色溢れる「小吃」(あやち、軽食)が見られるようになりました。「芋、番薯(ピーナツ芋)、高粱酒」が、それ以外にも、「種餅(ドーナツ)」「番薯餅(高粱餅)、高粱、肉製品、菓製品などがあります。金門の気候、土壌、水質などによって、油揚げ、香茅、調味料、經加工製菓の金門貢糖、更是香酥可口；獨特の天然條件、使金門酒廠釀製の高粱酒、香醇度更是他處所不及；菓刀製菓則是拜當年數次戰役及日後「華打薯不打」時、敵方射擊的砲彈所製、一條一條係列產品、在地置工機製的精美菓、都遠近馳名。

金門の産業も観光に合わせ、観光客を訪れる所はどこでも金門の特産品や郷土色溢れる「小吃」(あやち、軽食)が見られるようになりました。「芋、番薯(ピーナツ芋)、高粱酒」が、それ以外にも、「種餅(ドーナツ)」「番薯餅(高粱餅)、高粱、肉製品、菓製品などがあります。金門の気候、土壌、水質などによって、油揚げ、香茅、調味料、經加工製菓の金門貢糖、更是香酥可口；獨特の天然條件、使金門酒廠釀製の高粱酒、香醇度更是他處所不及；菓刀製菓則是拜當年數次戰役及日後「華打薯不打」時、敵方射擊の砲彈所製、一條一條係列產品、在地置工機製的精美菓、都遠近馳名。

金門の産業も観光に合わせ、観光客を訪れる所はどこでも金門の特産品や郷土色溢れる「小吃」(あやち、軽食)が見られるようになりました。「芋、番薯(ピーナツ芋)、高粱酒」が、それ以外にも、「種餅(ドーナツ)」「番薯餅(高粱餅)、高粱、肉製品、菓製品などがあります。金門の気候、土壌、水質などによって、油揚げ、香茅、調味料、經加工製菓の金門貢糖、更是香酥可口；獨特の天然條件、使金門酒廠釀製の高粱酒、香醇度更是他處所不及；菓刀製菓則是拜當年數次戰役及日後「華打薯不打」時、敵方射擊の砲彈所製、一條一條係列產品、在地置工機製的精美菓、都遠近馳名。

金門の産業も観光に合わせ、観光客を訪れる所はどこでも金門の特産品や郷土色溢れる「小吃」(あやち、軽食)が見られるようになりました。「芋、番薯(ピーナツ芋)、高粱酒」が、それ以外にも、「種餅(ドーナツ)」「番薯餅(高粱餅)、高粱、肉製品、菓製品などがあります。金門の気候、土壌、水質などによって、油揚げ、香茅、調味料、經加工製菓の金門貢糖、更是香酥可口；獨特の天然條件、使金門酒廠釀製の高粱酒、香醇度更是他處所不及；菓刀製菓則是拜當年數次戰役及日後「華打薯不打」時、敵方射擊の砲彈所製、一條一條係列產品、在地置工機製的精美菓、都遠近馳名。

金門の産業も観光に合わせ、観光客を訪れる所はどこでも金門の特産品や郷土色溢れる「小吃」(あやち、軽食)が見られるようになりました。「芋、番薯(ピーナツ芋)、高粱酒」が、それ以外にも、「種餅(ドーナツ)」「番薯餅(高粱餅)、高粱、肉